

# ニューズレター 経済教育学会

2012. Dec. No.18

会長挨拶・・・1 春季研究集会の報告者の募集とご案内・・・2 学会改革・・・2 第28回全国大会報告・・・3 学会賞の推薦・・・3～4 新刊紹介・・・4 学生会員の動向・・・4 理事会議事録・・・5～8 会員の現状・・・8 会費納入のお願い・・・8 編集後記・・・8

**会長に中谷武雄先生が再任されました。ご挨拶を掲載します。**

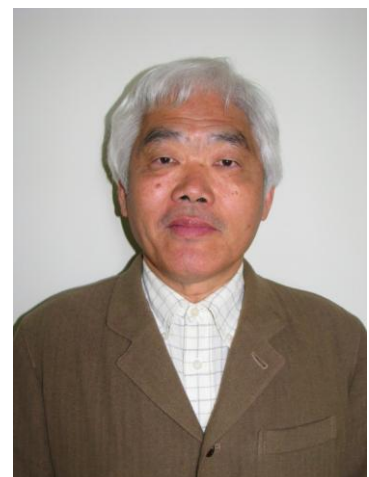
## 【ご挨拶】

9月30日の拡大理事会において、会長を続けさせていただくことになりました。この春に3年ぶりの役員選挙を実施し、明治大学での第28回全国大会の総会を受けて、新理事体制で最初の理事会で続投となりました。事務局が大坂洋さんを中心に富山大学や近隣の北陸地域の会員に支えられる構造に移行して間もないこと、学会業務の委託先を来年度から変更しなければならないこと、学会賞の発足、再来年の学会創立30周年記念事業を控えていることなど、引継ぎにはもう少し時間をかけて、ていねいに作業を進めることが必要であろうという考えにもとづいています。

今回の全国大会はあいにくの台風と重なり、また外国からの報告が直前にキャンセルになり、気分がそがれたのか、例年よりも参加者が少なかったのは残念ではありましたが、しかし「経済教育の新しい地平を求めて」のテーマのもとに、密度の濃い、集中した報告と議論を行うことができました。昨年の3.11の大きな災害や日本経済の将来の不透明性という大きな課題の下で、小・中・高、大学と市民生活を貫いて経済教育の重要性が深く認識される状況が生まれていることを、みんなで確認することができました。30周年に向けての、意義深い出発点であったと言えるでしょう。

30周年記念事業の一環として学会賞が設立され、来年の滋賀大学・第29回大会で第1回目の表彰を準備しています。経済教育の理論研究とともに、実践についても顕彰

経済教育学会会長 中谷武雄



しようとしています。学会貢献賞も含めて、学会賞が契機となって学会内外で経済教育への関心が高まり、学会活動にもよい影響を与えてくれることを期待しています。自薦・他薦を問いません。間もなく募集要項も発表されるでしょう。数年先のことも含めて、皆さんのご準備をお願いするところです。

3.11以降の新しい日本経済と世界経済の動きの中で、わが学会も経済教育という固有の分野とともに、その基盤をなす経済や社会、生活のあり方なども含めて、大いに議論と研究を盛り上げていきたいものです。春季大会は大月短期大学で開催されます。また9月末には滋賀大学に集まって、成果を持ち寄って、活発な交流が実現できることを期待してやみません。

皆さんの真摯な研究に根差す、積極的な参加、支援、協力、そして交流が学会活動の基本です。今後ともどうかよろしくお願い申し上げます。

**【今後の学会スケジュール】** 2013年3月23日(土) 午後・経済教育学会春季研究集会(大月短期大学)、  
夕食後・経済教育学会拡大理事会(河口湖・レイクランドホテルみづのさと)  
2013年3月24日(日) 午前・経済教育学会拡大理事会(河口湖・レイクランドホテルみづのさと)  
2013年9月28日(土) -29日(日) 第29回全国大会(滋賀大学)

## 【2013年3月23日(土)～24日(日) 春季研究集会・拡大理事会のご案内と報告者の募集】

春季研究集会実行委員長 長谷川義和 (大月短期大学)

経済教育学会 2013 年春季研究集会・拡大理事会を以下の通り開催いたします。研究集会では、「大学と地域」というテーマでシンポジウムを行ないます。大月短期大学の教育に講師として、また、地域実習の学生の受け入れ・指導に携わることをとおして、直接関わってこられた地域の方から報告をいただき、会員からのコメントと討論を行い大学と地域の関係について検討したいと考えています。研究集会では、他に自由論題の報告も予定します。拡大理事会では、第 29 回全国大会や新理事会の役割分担にもとづく活動、新たな委託先の選考などに十分な時間をとるため、23 日、24 日の 2 日間の日程としました。ただ、大月市内には適当な宿泊施設が無いので、河口湖畔の「レイクランドホテルみづのさと」という会場を確保しました。そのため、費用負担をお願いしなければならず、心苦しいのですが、富士山や河口湖の眺めと温泉は堪能していただけたと思います。理事以外の方の参加も歓迎いたします。

日時：2013 年 3 月 23 日 (土) 24 日 (日)

研究集会会場：大月短期大学 (中央線大月駅から徒歩 5 分)

〒401-0012 山梨県大月市御太 1-16-2

Tel:0554-22-5611 Fax. 0554-22-5613)

拡大理事会会場 (研究集会終了後、送迎バスで移動しま

す)

レイクランドホテルみづのさと

(〒401-0302 山梨県南都留郡富士河口湖町小立 1070

Tel 0555-72-1831 <http://www.mizunosato.jp/>) 富士急

河口湖駅から送迎バス 5～6 分

拡大理事会参加費：13,800 円 1泊2食付き (消費税・入湯税込み) アルコール別料金

連絡先：大月短期大学 長谷川義和 (E-mail：[peg00356@nifty.ne.jp](mailto:peg00356@nifty.ne.jp))

<プログラム>

1 日目 3 月 23 日 (土)

会場 1 大月短期大学

12:30 受付開始

13:00-15:00 研究集会 1 (自由論題)

15:10-17:30 研究集会 2 (シンポジウム「大学と地域」)

17:45 送迎バスで移動

会場 2 レイクランドホテルみづのさと

18:30-20:00 入浴・夕食

20:00-22:00 拡大理事会 1

2 日目 3 月 24 日 (日) レイクランドホテルみづのさと

9:00-12:00 拡大理事会 2

### 報告をご希望の方は…

#### <春季研究集会 自由論題報告応募要項> 締切：2013年2月15日(金) 必着

応募方法：経済教育学会 WEB <http://ecoedu.jp/> から下記の必要事項を入力してください。

[必要事項] 報告者氏名・所属 (複数の場合は全員)、連絡先 (代表者のみ、郵便番号、住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス、携帯電話等の緊急連絡先)、報告論題、報告要旨 (300 字程度) ※報告希望者多数の場合、全国大会でのご報告をお願いする場合があります。報告の採否は、2 月 28 日 (木) までに、メールにてご連絡いたします。

#### <拡大理事会 参加申込> 締切：2013年2月28日(木) 必着

応募方法：以下の必要事項を記入の上、特定非営利活動法人 CANPAN センター ACNet ([ac070-jsee@canpan.org](mailto:ac070-jsee@canpan.org) Fax. 03-6299-5116) 経済教育学会担当までお申し込みください。

[必要事項] 報告者氏名・所属 (複数の場合は全員)、連絡先 (代表者のみ、郵便番号、住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス、携帯電話等の緊急連絡先)。

### 【学会改革チームを継続します】

前理事会体制まで活動し、世話人役を務めて頂いた宇佐見前理事を中心に、学会賞創設などを行った「学会改革チーム」ですが、新理事会でその継続が決まりました。当面、当学会の懸案事項である「会長、事務局の決定方法」などを現事務局と連携しながら検討する予定ですが、それに限ることなく、

学会活動の不断の改善を目指して様々な課題に取り組みたいと考えています。こういうことを検討してほしい、というような要望がございましたら、下記の改革チームメンバーか事務局にお気軽に御提案下さい。

改革チームメンバー：中谷武雄、大坂洋、橋本勝)

## 【2012年経済教育学会第28回全国大会報告】

第28回全国大会実行委員長 水野 勝之(明治大学)

9月29日(土)、30日(日) 明治大学駿河台校舎で第28回経済教育学会全国大会が開催されました。



ちょうど台風が日本列島を直撃し、出席者は例年よりも少なかったのですが、熱気ある議論が交

わされました。

29日のシンポジウムは、「経済教育の新しい地平を求めて」をテーマに行われました。コーディネータを宇佐見義尚先生(亜細亜大学)にお願ひし、基調報告を飯田泰之先生(駒澤大学)、パネラスピーチを八木紀一郎(摂南大学)、藤岡惇(立命館大学)、樋口雅夫(文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)の各先生にお願ひしま



した。

飯田先生は、基調報告で、「注目される企業の業務を取り上げ、経営者を招き、体験学習を通じてビジネスの現場に触れさせるという授業計画のない大学はないのではないか。しかし、これ以上実務型・即戦力型の教育が増えることに、私は、全く反対である。」というような刺激的な考え方を示し、大学生の論理性を養うのに経済学でなくて

もよいという考えも示されました。こうしたお考えが問題提起となり、パネラー、



フロアの方々と様々な議論がなされました。熱いシンポジウムを行うことができました。

29日は、シンポジウム以外に、会員総会(16時10分~17時10分・リバティ・タワー2階1022教室)、懇親会(17時30分~19時 明治大学リバティアカデミー17F)も行われました。特に、懇親会では、基調報告者の飯田先生のご出席もあれば、先ほどの議論の続きができたのという声が聞かれました。それだけ中身の濃いシンポジウムだったようです。

9月30日(日)は6つの分科会での分科会報告でした。分科会1は経済学と経済教育、分科会2は経済リテラシーの国際比較、分科会3は中学校・高等学校における経済教育(1)、分科会4はキャリア教育、分科会5はゼミナール・少人数教育、分科会6は中学校・高等学校における経済教育(2)でした。台風のため出席が少なかったのですが、前述のとおり、今後の経済教育のあり方を見据えながらどの分科会も活発な議論がなされました。

台風のエネルギーを逆に熱気に変えて活発な議論がなされた大会になったことと思います。これも、中谷武雄会長をはじめとした理事の皆さん、実行委員

会の皆さん、そして会員の皆さんの多大なるご協力いただいたおかげだと思います。心より感謝申し上げます



## 【学会賞推薦の受付を行います】

経済教育学会事務局 学会賞選考委員会

次年度の大会での表彰を念頭に、本学会の第1回学会賞の推薦を下記の内容で受け付けます。自薦・他薦を問わず、多くの推薦をして下さいますよう、御案内申し上げます。

◇賞の種類と主旨

1. 経済教育学会賞(研究部門)…経済教育研究において顕著な業績を残した研究者
2. 経済教育学会賞(教育実践部門)…経済教育実践において顕著な業績を残した教員
3. 経済教育学会奨励賞…経済教育の発展に寄与することが大きく期待される若手会員
4. 経済教育学会特別賞…会員外で経済教育の発展への貢献が著しいと認められる個人
5. 経済教育学会功労賞…学会活動の発展において貢献が著し

いと認められる個人

◇被推薦対象者

3. は2013年4月1日現在で35歳未満の会員。また、5は会員、4は非会員に限定。

◇推薦資格者

会員

※一人の会員が推薦できるのは、1つの賞に関し自薦も含め1件までとする。また、一人の会員が同一の候補者を複数の賞の候補者として推薦はできないものとする。

◇受賞内容

表彰状、盾  
●推薦受付期間

このニューズレター発行日から2013年3月31日(日)まで

●推薦受付先：経済教育学会事務局

郵送またはメール添付で専用の様式で御提出下さい。

・郵送の場合の宛先

〒930-8555 富山市五福3190

富山大学経済学部 大坂研究室 気付

・メール添付の場合のアドレス

office@ecoedu.jp

※専用の推薦様式は近く、ホームページにアップします。事務局に郵送を御請求いただいても結構です。

## 【新刊紹介】(会員による新刊を紹介します)

岩田年浩(京都経済短期大学学長) 水野英雄(愛知教育大学准教授) 編

『教員養成における経済教育の課題と展望』(三恵社) ISBN 978-4-86487-035-1、価格:2,000円+税



### (内容概要)

急激な少子化により変化する現代社会を的確に捉えるためには経済的知識が必要です。しかしながら、現在の学校教育では経済的知識の教育が軽視されています。その理由は教員の経済的知識が不十分であるためです。

厳しい経済状況を克服するためには、教員に経済的知識の教育を行うことで学校における経済教育の普及を図ることが必要であり、経済教育は現在検討されている教育改革や教員養成改革にとって重要な視点となります。本書では教員養成における経済教育の現状と課題、さらには今後の展開について検討します。本書は経済学者や教育学者、さらにはこれから教員になりたい方や社会人から教員を目指している方にも、教員養成や経済教育の最新の動向について、わかりやすく知って頂ける内容となっています。

## 【学生会員の動向】

本学会の学生会員である鶴飼遙佳さん、村井望さん(愛知教育大学現代学芸課程国際文化コース国際社会履修モデル4年生)が日銀グランプリでの入賞(優秀賞)の経験を下に研究報告を行いました。その報告を寄稿してもらいました。

2012年10月6日(土)に開催校を鹿児島大学、会場をわざわざ県民交流センターとして開催された平成24年度日本教育大学協会研究集会には、全国の教員養成系大学・学部からのべ350名を超える教職員や学生の参加があり、私達も日銀グランプリにかかる発表のために参加させていただきました。

研究集会冒頭では文部科学省高等教育局長の板東久美子氏による基調講演「これからの教員養成に求められるもの」が行われ、続くパネルディスカッションでは「これからの教員養成の在り方中教審の議論をどう読み解くか」をテーマに活発な議論が行われました。教員養成における修士義務化に対する高岡信也教員研修センター理事の見解、私立大学の教員養成のユニークさに関する中村正立命館常任理事のプレゼンテーション、教員が研修などを活用して「学び続けること」の重要性を説く西川和孝鹿児島県教育委員会義務教育課長の講演は、学生の立場から大変興味深いものでした。

分科会やポスターセッションでは教員養成に関する各大学の取組や最新の動向について紹介があり、私達はポスター部門において日銀グランプリ提言に基づく金融教育の実践報告と、日本とドイツにかかる後続研究について発表させて頂き、また水野英雄准教授の発表の中でコメントをさせて頂きました。たくさんの教

育関係者の方々が金融教育に興味を示し、好意的な意見やご感想をいただく中で、教育界において、経済や金融に関する教育への確かなニーズが存在していることを確認しました。また他大学もアメリカの教員養成等について興味深い発表をしており、教員養成改革においてもグローバルな学び合いが必要とされているとの思いを強くしました。

懇親会では鹿児島や島根、広島といった他地域の学生との交流を通じて、自分たちが愛知という小さな枠にとらわれた見方をしていたこと、教員養成も地域によって様々な違いがあるということを実感を持って語り合いました。教員を目指す全国の学生と交流を持てたこと、また様々な形で教育に携わる方々のお話を聞くことが出来たことは私達にとってこの上なく良い刺激となりました。この経験と繋がりを糧に、これからの教育の在り方について柔軟な思考で提案し、実現に向けた取り組みに携わっていきたくと考えています。



.....  
**【2012年度 理事会議事録】**

**理事会（2012年7月28日）議事録**

日時 2012年7月28日 13:12～17:30

場所：明治大学駿河台校舎アカデミーコモン8階A7・A8会議室

出席者：(理事31名、定足数16名) 浅野忠克、あんびるえつこ、泉美智子、宇佐見義尚、大坂洋、加納正雄、田中淳、角田収、草原光明、中谷武雄、新里泰孝、橋本勝、長谷川義和、藤岡淳、松本朗、水野勝之(出席者16名、委任状12名)。オブザーバー：八木尚志、高橋勝也(2名)。

審議に先立ち、議長に会長の中谷武雄氏を選出し、議事録作成を新里泰孝が担当し、後日メールにて議事録の確認をすることとした。

**1. 審議事項**

**1. 理事の補充**

明治大学での全国大会開催のため次の2名を補充し、理事とすることとした。

八木尚志(明治大学)、高橋勝也(東京都立桜修館中等教育学校)。

**2. 会員の入退会**

2012年4月1日以降の入会者として8名が承認された。芹澤勝信、藤本晴久、八木尚志、呂光暁(学生会員)、石黒順子(学生会員)、端野純江(学生会員)、古田俊吉、釜賀雅史。4月中に申し出があった3名について、3月末日退会者として承認した。福岡英典、長島誠一、林義樹。

滞納会員について、会員資格条件を検討すること、現状を調査することとした。また、退会、休会、再入会などの規定について、種々議論があった。

**3. 2012年度予算案等**

2012年度(2012年4月1日から2013年3月31日)の予算案が中谷会長より提案された。原案に学会賞関係費5万円、学会誌保管料4万円を追加する修正案を承認した。2012年度総会は9月29日、学会誌『経済教育』は10月発行予定のため、2012年度予算を学会誌に掲載することは困難である。2012年度予算案を学会誌に、総会で承認された予算をニューズレターに掲載することとした。

**4. 2011年度決算案**

2011年度(2010年9月1日から2012年3月31日)決算案が中谷会長より提案され、承認された。

**5. 役員選挙結果**

役員選挙管理委員長(新里泰孝)から、現在18名の理事が確定しているとの中間報告があった。20名の理事が確定次第、理事会メンバーリングリストに告知することとした。

**6. 第28回全国大会(9月29日～30日：明治大学)大会プログラム**

実行委員会委員長(水野勝之)から準備状況の報告があった。大会プログラムを確定し、分科会の座長を決定した。9月上旬にプログラム等を会員に郵送し、「報告要旨集」は当日配布することとした。

**7. 今後の春季大会、全国大会とそのあり方**

第29回全国大会は2013年滋賀大学(担当：加納正雄)で開催することを確認した。2013年春季研究集会は月短期大学(担当：長谷川義和)で開催、2014年30周年記念大会は立命館大学で開催するこ

とを決定した。

**II. 報告事項**

**1. 後継の事務委託業者について**

現在の事務委託業者ACNetは2013年3月末で終了する。次期の委託業者選定について、次回の理事会で決定できるよう事務局が準備することとした。

**2. 各部会報告**

**(1) 学会改革**

宇佐見世話人から、ニューズレターで学会改革テーマを募集しているが、提案がない。引き続き、募集中との説明があった。

**(2) 学会誌編集委員会**

浅野編集委員から、10月下旬発行予定で進行しているとの編集状況の説明があった。また、2011年度決算案および2012年度予算案を31号に、決算および予算の確定版を32号に掲載することとした。

**(1) ニューズレター**

あんびる担当理事から11月か12月に18号、4月か5月に19号を発行予定であるとの報告があった。

以上

.....  
**理事会議事録**

日時：2012年9月29日(土) 10時32分～12時55分

場所：明治大学研究棟第2会議室

出席者(50音順)：浅野忠克、あんびるえつこ、宇佐見義尚、大坂洋、角田収、加納正雄、高橋勝也、中谷武雄、新里泰孝、橋本勝、長谷川義和、藤岡淳、松本朗、水野勝之、宮原悟、八木紀一郎、八木尚志(17名)、委任状：15通

出席者、委任状総数が理事総数(33名)の過半数を超え、成立。  
※全国大会準備のため、実行委員の理事は途中退席または一時退席会議に先立ち、議長に中谷会長を指名するも、中谷氏が3分ほど遅刻したので、その間、大坂事務局長を仮議長として開会。出欠と前回議事録の確認等を行った。また、輪番による議事録案の作成は橋本勝が担当し、後日、メールにて一次確認を行うこととした。

**I 審議事項**

**1. 会員総会の議長推薦について**

当日開催される第28回総会議長に理事会として推薦する会員を出席予定者リスト等を参考に選考しようとしたが結論が得られなかったため、総会開会までに出席者の中から適任者を探り、内諾を得る方向で事務局に一任された。(結果的には横田数弘氏を推薦することになった。)

**2. 2011年度決算案及び監査報告について**

議長から、引き継ぎの特殊事情により会長が特例として会計を担当していることの説明があり、総会用資料に基づき説明があり承認された。尚、資料は学会誌に掲載予定のものが提示されたが、会計監査報告の日付が間違っていたため、それを正しいものと差し替える点の説明があり、総会でもそのように報告するという説明があった。

**3. 2012年度予算案について**

続いて議長から、2012年度予算案について提案がなされ、原案通り承認された。審議の中で、会計年度の移行及び特別会計廃止等の事情により、前年度予算・決算との単純比較が困難なことの補足説明があった。

#### 4. 選挙結果について

新里選挙管理委員長から、6月10日～7月10日を投票期間として実施した次期理事選挙についての詳細な説明があり20名の新理事氏名を総会で報告することが承認された。尚、翌日に開催予定の新理事会には、新理事の他、若干の補充理事予定者の陪席を求めるとともに、引き継ぎ等の観点から、今期で任期を終える理事も可能なら陪席するよう依頼することとした。

#### 5. 学会賞について

大坂事務局長から、準備が遅れている学会賞選考について、新理事会の下で早々に選考委員会を立ち上げることが提案され、承認された。

尚、学会賞に関連し、学会改革チームを継続するよう、宇佐見世話人から提案があった。改革チームのメンバーが世話人も含めて抜けるので、今後、事務局を中心に改革チームを再組織化して、不断の改革に向けて作業を継続することとなった。

#### 6. 業務委託先の変更について

大坂事務局長から、前回理事会で報告した通り、現在、事務局機能の一部を委託しているACNetが2013年3月末日をもって学会業務委託業務からの撤退を通告してきたことへの対応策について、他社の見積もりを取り鋭意検討中であること、どこに切り替えるにしても現在の委託料より少し割高になること等の報告があった。本来であれば、本理事会で決定する運びであったが、一長一短があって候補先を決めきれなかったことのお詫びがあった。次回理事会で追認するにしても、来年度の学会活動に支障をきたさないよう早めに決定する必要があるため、今後、委託料とサービス内容のバランス、学会支援に対する慣れなどの諸条件を考慮しながら、事務局を中心に新規委託先を一本化する作業を急ぐこととなった。

## II 報告事項

### 1. 過去1年の会務報告について

大坂事務局長から、総会資料に基づき説明があった。理事会議題が「2012年度」会務報告となっているが、総会での会員への情報提供という観点から昨年度の総会から今年度の総会までを対象にした方がよいだろうという判断から、「過去1年の」と訂正することとなった。また、資料に対して若干の漏れが指摘され、総会では口頭で補うこととした。

### 2. 2012年度会費徴収状況について

大坂事務局長から、総会資料に基づき説明があった。尚、注釈の表記は誤解を生じる可能性があるため、削除することとした。

### 3. 会員の異動について

大坂事務局長から、この1年の入会者15名の氏名が改めて報告され、この1年の退会者は24名のため差し引きで9名減という状況であること、また、現在の会員数は、正会員328名、特別会員22名、学生会員17名、計367名であることも併せて報告された。

尚、前回理事会で若干議論があった休会規程は今回は特に提案する

には至っていないことが報告された。

#### 4. その他

大坂事務局長から、来年度の全国大会は滋賀大学で2013年9月28日・29日に開催予定であること、また、次回春季研究集会は2013年3月23日(または23日・24日)に開催予定であること、前者は加納理事、後者は長谷川理事を中心に企画準備を進めていることが報告された。

浅野編集委員長から、学会誌第31号が遅くとも10月半ばに各会員の下に届くよう、最終準備を進めているという報告があった。

[付記]

※報告事項3に関連し、前回理事会以降の入会者は井草剛氏のみで、本来はこれを審議事項として別扱いすべきであったが、事務局長の15名の氏名報告をもって代用したい。(事務局)

.....  
**経済教育学会 2012年度 会員総会 (2012年9月29日) 議事録** (\*橋本がまとめた素案を、事務局案として固め、その後、理事会MLで確認する形を取った)

日時:2012年9月29日(土) 16時10分～17時20分

場所:明治大学リパティ・タワー1022教室

### I. 審議事項

#### 1. 議長選出

会議に先立ち議長を募ったが、申し出がなかったため、理事会推薦として横田数弘氏を選出した。

#### 2. 会務報告

大坂事務局長から、2011年度の全国大会以降1年間の学会活動について、概要を報告した。

2011年10月25日 学会誌第30号発刊

2012年 1月31日 ニューズレター第16号発行

3月28日 春季研究集会(キャンパスプラザ京都)、拡大理事会

4月1日 事務局移転(関西大学長谷川研究室から富山大学大坂研究室)

5月20日 ニューズレター第17号発行

6月10日～7月10日次期理事選挙実施(開票:7月16日)

7月28日 理事会(明治大学アカデミーコモンA7A8会議室)

9月29-30日 第28回全国大会・総会

(明治大学リパティタワー)

(9月29日 最終旧理事会、9月30日 新理事会)

※総会資料には一部欠落があり、口頭で補った。

#### 3. 2011年度決算案及び監査報告について

中谷会長から、事務局の引き継ぎの特殊事情により会長が特例として会計を担当していることの説明の後、総会用資料に基づき各費目ごとに説明があり、続いて大谷和海会員から監査報告があった。尚、資料は学会誌第31号に掲載予定のものが提示されたが、会計監査報告の日付が間違っていたため、それを正しいものと差し替える点の補足説明もあり、その点も含め、審議の結果、承認された。

#### 4. 2012年度予算案について

続いて中谷会長から、2012年度予算案について提案がなされ、

原案通り承認された。審議の中で、会計年度の移行及び特別会計廃止等の事情により、前年度予算・決算との単純比較が困難なことの補足説明があった。

尚、事務局より、4月～翌年3月の会計年度でありながら、予算審議が秋の全国大会時に行われると、その間の予算執行は毎年、構造的に承認前の執行となる点を了承してもらいたい、との申し出があり、その点も併せて了承された。但し、今後、大幅な予算変更を伴う場合は3月の理事会で提案・審議することとした。

## II. 報告事項

### 1. 会費徴収状況について

大坂事務局長から、今年度分の暫定数値も含め、過年度の会費未納状況について説明があり、未納者に対し催促をする旨の報告があった。尚、未納者は年々増加傾向にあり、根本的な解決が望まれる。

### 2. 会員の異動について

大坂事務局長から、この1年の入会者15名の氏名が口頭で報告され、現在の会員数は、正会員328名、特別会員22名、学生会員17名、計367名であることが報告された。また、この1年の退会者は24名のため、差し引きで9名減という状況であることも説明された。

### 3. 理事選挙結果について

新里選挙管理委員長から、6月10日～7月10日を投票期間として実施した次期理事選挙についての説明があり20名の新理事が決まったことが報告された。

基準日の2012年4月1日時点の選挙権者数：361 被選挙権者数：358

投票総数：51 有効投票数：50 (1通は外封筒に住所・氏名の記載なしのため無効)

新理事は以下の通り。(50音順)

阿部信太郎、あんびるえつこ、猪瀬武則、岩田年浩、大坂洋、角田収、角田修一、栗原久、篠原総一、中谷武雄、新里泰孝、橋本勝、長谷川義和、藤岡惇、松本朗、水野勝之、水野英雄、森岡孝二、宮原悟、山根栄次 (以上20名)

### 4. 第29回全国大会及び第30回全国大会について

大坂事務局長から、来年度の第29回全国大会は滋賀大学で2013年9月28日・29日に開催予定であることが紹介され、担当理事の加納会員から挨拶があった。また、2014年の第30回記念全国大会は立命館大学で企画準備を進めていることが報告された。

### 5. 2012年度春季研究集会について

大坂事務局長から、来春の春季研究集会は2013年3月23日(または23日・24日)に大月短期大学で開催予定であることが紹介され、担当理事の長谷川会員から挨拶があった。

### 6. その他

#### (1) 学会賞について

大坂事務局長から、学会賞選考について、新理事会の下で早々に選考委員会を立ち上げ、準備を進めることが報告された。

#### (2) 学会誌について

浅野編集委員長から、学会誌第31号が遅くとも10月半ばに各会員に届くよう、最終準備を進めているという報告があった。また、同号に記載される投稿要領で、編集を円滑に進めるため、投稿の締め切りを1か月早めて3月20日にすることを会員に通知するという報告もあった。

#### (3) ニュースレターについて

あんびる会員より次号のニュースレターは11月か12月に発行予定であることが報告された。

#### (4) 業務委託先の変更について

大坂事務局長から、現在、事務局機能の一部を委託しているACNetが2013年3月末日をもって学会業務委託業務からの撤退を通告してきたことにより、他社への変更を余儀なくされているが、理事会ではまだ変更先を決定しかねていること、どこに切り替えるにしても現在の委託料より少し割高になること等の説明があり、来年度の学会活動に支障をきたさないよう、今後、事務局で鋭意検討を進め、早めに決定するよう作業を急ぐという報告があった。

## 2012年度 第1回新理事会 議事録

日時:2012年9月30日(日) 正午～午後1時

場所:明治大学駿河台校舎(アカデミーコモン8階A7A8会議室)

出席者(敬称略):中谷武雄、大坂洋、新里泰孝、橋本勝、長谷川義和、水野勝之、松本朗、加納正雄、岩田年浩、あんびるえつこ、阿部信太郎。他委任状8通

審議に先立ち、議長に中谷武雄氏を選出し、議事録作成をあんびるえつこが担当し、後日メールにて議事録の確認をすることとした。また以下の通り、補充理事を選出し、新理事会を発足させた。

補充理事 加納正雄、河原和之、中里弘穂、高橋勝也、八木尚志

### I. 審議事項

#### (1) 理事役割分担

会長に中谷武雄氏を選出し、理事の役割分担を下記のように決定した。任期は1年とする。(敬称略)

会長 中谷武雄

事務局長 大坂洋

事務局担当 新里泰孝、橋本勝

学会誌担当 長谷川義和、高橋勝也、八木尚志

※他、必要に応じて担当者を依頼し、あわせて補充理事とする

ニュースレター担当 松本朗、中里弘穂、あんびるえつこ(※2014年からの松本氏の海外留学を勘案し、以後の編集体制の見直しを検討することとする)

ホームページ担当 水野英雄

全国大会担当 加納正雄

※他、必要に応じて担当者を依頼し、あわせて補充理事とする

春季研究集会担当 長谷川義和

理事会議事録担当 輪番(理事会出席者に依頼する)

改革チーム 中谷武雄、大坂洋、橋本勝

学会賞担当 橋本勝、猪瀬武則、大坂洋

30周年記念担当 藤岡惇、岩田年浩、森岡孝二、

あんびるえつこ

なお、次の点も確認された。

①改革チームを継続する。ただし、代表の宇佐見氏が理事を離れるため、新たに代表の選出が必要 ②30周年記念担当を継続する。また、三宅忠和氏に協力をお願いし、30周年記念担当者の判断で必要であれば、補充理事として次回理事会で提案する。③学会賞は、学会賞選考委員会を橋本氏が立ち上げ、1・2月に推薦、3月末に締め切り、選考に入る。選考委員は、担当理事のほか、宇佐見義尚、浅野忠克を加え、ほかに最大2名まで追加が可能。選考委員会のたち上げが了承された。④名簿担当は、現状、事務委託業者の業務内にあり、特に必要が認められないためこれをおかないこととする。

## II. 報告事項

1. 次回理事会は、3月24日(日) 大月市周辺にて開催予定
2. 今後の大会・研究集会

①2012年度春季研究集会(2013年3月23日) 大月短期大学に

て開催(担当:長谷川義和理事)

①29回全国大会(2013年9月28、29日) 滋賀大学にて開催(担当:加納正雄理事)②第30回全国大会(2014年)立命館大学にて開催(担当:藤岡惇理事)

### 3. そのほか

ACNetの業務終了に伴い、新たな委託先を選考中。事務局が見積もりを取り、検討する

※経済学教育学会教科書編集委員会(編)『新時代の経済学入門』実教出版、1998年、の印税として、実教出版より、1,875円が、2012年5月15日に学会口座に入金されました。総会の会計報告の補足として、ここで報告いたします。

(お詫び)2012年度会計監査を総会で決定すべきところ、事務局長大坂の不注意で審議されませんでした。会員の皆様にお詫びいたしますとともに、次回理事会にて決定となることをご了承願います。(事務局長 大坂)

## 【会員の現状】

**2012年4月1日以降の入会者:** 芹澤勝信、藤本晴久、八木尚志、呂光暁(学生会員)、石黒順子(学生会員)、端野純江(学生会員)、古田俊吉、釜賀雅史。**2012年4月1日以降の退会者:** 福岡英典、長島誠一、林義樹。

**《会費納入のお願い》** 2012年度の年会費をまだお支払い頂いていない方、過去に未納のある方につきましては、納入のご依頼をお送りさせて頂いております。郵便局(ゆうちょ銀行)にて下記の振替口座に年会費(学生等の条件により金額は異なります)をお振込み下さい。

口座番号: 00920-3-252875 口座名義: 経済教育学会

年会費: 正会員 5,000円、学生会員(大学院生を含む) 2,000円、65歳以上の会員 2,500円(本人の申請により会費を半額とさせて頂いております。払込用紙の通信欄に「生年月日・年齢」をご記入下さい。)

・経済教育学会は日本学術会議協力学術研究団体(詳細は <http://www.scj.go.jp/ja/group/dantai/index.html>)です。学会費は所属先の校費にてお支払い頂ける場合があります。

## <編集後記>

大変遅くなりました。ニューズレター第18号をお送りします。「破れかぶれ」か「馬鹿正直」か、わかりませんが、首相は総選挙を選択しました。このニュース・レターがお手元に届く頃には、私たちがどの政権に舵取り任せたのかはつきりしていることと思います。そんな中、経済学を学ぶ学生諸君には社会に目を向けて問題意識を醸成してほしいのですが、現在の教育体制が学生達の感性を骨抜きにしているためなのか、なかなか思うような反応をしてくれないのが残念です。私自身の教育スキルの未熟さを痛感しつつ、この学会から学ばなければという思いを強くしています。(朗)

## 経済教育学会 ニューズレター 第18号

2012年12月10日発行

発行人 経済教育学会 会長 中谷武雄

編集人 あんびるえつこ 松本朗

発行所 〒930-8555 富山市五福3190番地

富山大学経済学部大坂洋研究室(経済教育学会事務局)

発送元 〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル

特定非営利活動法人CANPANセンター ACNet

TEL 03-6229-5104、FAX 03-6229-5116、

電子メール: [ac070-jsee@canpan.org](mailto:ac070-jsee@canpan.org)

印刷所 有限会社エムディーエス (TEL:03-5261-9021)